

鞆の浦全景

提供：福山市観光コンベンション協会

福山市連携モビリティ



新しい交通手段が小さな港町を救う 『鞆の浦グリスロ潮待ちタクシー』

2019/11/1



ASAHI GROUP
ASAHI

アサヒタクシー株式会社

広島県福山市新涯町2-20-11

①取り組み ②運行ルート



瀬戸内海の中央に位置する鞆の浦は、東西からの潮がぶつかって流れを変えるポイントであったため、「潮待ちの港」として多くの船が立ち寄り、交易の拠点として古代から栄えていた。

鞆の浦地区は狭い道や坂道が多く、現在約4000人の住民のうち半数弱が、65歳以上と住民の高齢化が進んでいる町。

①取り組み

【1】住民のためにドアtoドアを実現する乗り物として住み心地いい町づくりを目指す。

【2】通常、歩いては回りきれない場所へ観光客を案内する取り組み。

②運行ルート



③地域の反応

③地域住民と観光客の反応

○鞆の浦は海と山に囲まれた町で、急な坂道が多く高齢者にとっては住みにくい町。
住民からは、自宅から病院、集会所、買い物など手軽に利用できる乗り物で、便利になった。
またコンパクトな乗り物のため、乗客と運転手との会話もしやすくなった。

○観光客からは、開放的で低速な乗り物であるため、鞆の浦の風と匂いを感じられるという声
があり、地域住民が観光客に声をかけるなどの交流が生まれ、町に活気が出た。



ドアto ドアが可能になり、高齢者にとって身近な乗り物に。



古い商家「太田家住宅」のあるメイン通り。狭い道もスイスイ走ります。



「医王寺」まで続く、細くて急な坂道もらくらく上がる、『潮待ちグリスロタクシー』。



観光客は、通常タクシーでは感じられない海の音、潮風の香りなど肌で感じることができる。